

いわいの大地

農家と農業委員会をつなぐ広報誌



〔藤沢地域〕
遠藤 史佳さん

心に残る活動報告会

令和6年3月2日に、第30期ふるさと協力隊の遠藤史佳さんの活動報告会が開催されました。

史佳さんは滋賀県草津市出身で、一関市13人目のふるさと協力隊として令和5年4月に着任されてから、藤沢町で活動されてきました。

一年間の藤沢町での暮らしは、春の初めての農作業体験から始まり、田植えや稲刈り、各種野菜の定植から収穫、出荷まで一通りの作業の手伝いのほか、ヤギや牛のお世話もしていただきました。

農業の合間には、夏には町内のお祭りへの参加、秋には産業文化祭や震災復興のがんばっ田交流会、冬には伝統ある白澤神社のおためし神事や藤沢市民劇場の演出から出演までと、紹介しきれない程の活動をしてきました。

任期を終えるにあたり開かれた報告会では、130人も町民の方々が集まりました。史佳さんの町内での足跡を讃えながら今後の活動を願うという、心に残るような報告会となりました。史佳さんからは、農作業の体験が大きく影響したと話していただきました。

農地利用最適化推進委員

菅原良博

農業委員と農地利用最適化推進委員を募集します。

任期満了により、市と農業委員会は新たに農業委員と農地利用最適化推進委員を募集します。

任期は令和6年9月20日から3年間で、主な業務や募集人数などは左記のとおりです。

資格などにつきましては、詳しくは市ホームページで確認するか、農業委員会事務局または農政推進課、各支所産業建設課へお問い合わせください。

申し込み

下記窓口で配布する推薦申込書または応募申込書に必要事項を記入し、5月7日(火)~31日(金)までに提出してください。

*申込書は市ホームページでもダウンロード可

農業委員・農地利用最適化推進委員の概要

	農業委員	農地利用最適化推進委員
主な業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月の総会審議 ・ 農地等の利用の最適化推進活動 ・ 農業一般に関する調査および情報提供 ・ 関係行政機関への意見の提出 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査案件の現地調査 ・ 農地パトロールの中心的な役割 ・ 農地利用最適化業務のための現場活動 ・ 農地中間管理機構との連携 など
募集人数	24人	36人 (一関8、花泉7、大東5、千厩4、東山3、室根3、川崎2、藤沢4)
報酬	月額 32,100円	月額 27,400円
	※月額報酬のほか、農地利用の最適化に係る活動および成果の実績に応じて、予算の範囲内において市長が定める額を年額報酬として支給します。	





花泉地域



室根地域

1月23日から、室根地域の7会場で地域計画策定のための協議が開催されました。将来の地域農業のあり方を決めるため、関係者が一体となり、10年後の農地利用を定めた目標地図について話し合いました。高齢化や農業者の減少が懸念される中、地域農業を維持していくため、誰が担っていくのか、誰に農地を集積・集約化していくのか、地域として何をすべきかなどについて率直な意見を出してもらいました。地域の共通課題として、農業者の高齢化と後継者が少なく、遊休農地の更なる増加が懸念されています。そのため、認定農業者、集落営農組織等担い手への農地の集積・集約化、農作業の受委託、生産効率の向上を図るための基盤整備への取り組み、新規就農者の育成、地域全体で農地利用していく仕組みの構築などを推進していくことにしました。

農業委員 藤原 美喜男

将来の農地利用を考える懇談会（夏川地区）が油島市民センターで開催されました。市から地域計画について説明を受け、直ちに2班に分かれ地域の現状や課題、将来等について議論を交わしました。どの班からも農業者の高齢化や後継者不足の指摘があり、経営の安定による雇用の確保、先進的農業機械の導入や加工、畑作物の導入などが提案されました。また、個人経営ではリスクが大きく会社や法人等、組織的な農業にしなければ経営が維持出来ないなどの発言もありました。関係者が一丸となり前向きに協議検討することで、各地域に合った地域計画が出来るものと期待されます。

農業委員 佐藤 多賀幸

男女に捉われず 農業として考えていくこと

2月8日、盛岡市で令和6年度いわてホラーノの会総会および女性農業委員・農地利用最適化推進委員活動研修会が開催されました。岩手県内の女性農業委員・農地利用最適化推進委員約80人が出席。

研修会は農業委員会会長、事務局、長研修会との合同開催で、宮城県美里町の地域計画策定に向けた取組、また「男性も女性も、一緒に活躍していくためには」の演題で多様な人材が活躍し続ける環境づくりについて講演がありました。

今年度の総会参加者は昨年度に比べ30人近く多く、県内外で活躍している女性農業者の事例研修、女性の農業委員、農地利用最適化推進委員の登用促進に向けた取組などの報告があり、活発な質疑が交わされました。登用促進の取組では女性の農業委員が1名、農地利用最適化推進委員がゼロの農業委員会を対象に市町村長、議会議長及び農業委員会会長へ要請活動を実施した結果、紫波町、盛岡市、普代村、岩泉町、田野畑村で農業委員または推進委員が増となり昨年より6名増となりました。

研修会と講演会の間に女性委員の活動紹介があり、地区別懇談会の活動として釜石市・遠野市・大槌町の上閉伊地区交流会と二戸地区と青森県三八地区農業委員会連絡協議会（八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村）の視察・意見交換会の発表がありました。

両地区とも県内外、市町村の垣根を越えた交流・情報交換会は参考となるものが多くあったことが伺えました。また懇談会の報告は毎年総会時に行われており、今年度初めて合同研修会での発表となりました。会長また事務局長にも周知できたことは活動を知ってもらういい機会となったと感じております。

講演会の「男性も女性も、一緒に活躍していくためには」という演題の通り、多様性を受け入れる環境に少しずつ進んできたと感じることができました。

農業委員 松岡 千賀子



研修会と講演会の間に女性委員の活動紹介があり、地区別懇談会の活動として釜石市・遠野市・大槌町の上閉伊地区交流会と二戸地区と青森県三八地区農業委員会連絡協議会（八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村）の視察・意見交換会の発表がありました。



農地法に基づく 許可申請等について

1 農地の売買、貸借、転用、相続に必要な農地法の手続き

① 農地等の売買・貸借などをする場合の手続き（農地法第3条）

農地を耕作することを目的とした売買・貸借をする場合は、農業委員会で農地法第3条の許可を受けることが必要です。また、相続により農地の権利を取得した場合は、法務局への登記完了後に農業委員会へ届出してください。

② 農地を転用する場合の手続き（農地法第4条・5条）

農地を農地以外の用途に使用することを転用と呼びます。自分名義の農地を転用する場合は農地法第4条、他人名義の農地を取得、あるいは貸借して転用する場合は第5条の許可が必要です。

2 簡易な農地改良工事をする場合の届出（農地現状変更届出書）

農地を農地として利用し、田畑を耕作しやすいようにするために盛土や切土などをする場合は、農地現状変更届出書を提出してください。営農計画をお聞きするため、届出人ご本人による届出をお願いします。工事完了後は、速やかに耕作を再開願います。

※必要書類等、詳しい手続きが知りたい場合は、一関地域については本庁農政推進課、川崎地域については農業委員会、そのほかの地域は各支所産業建設課までお問い合わせください。

相続登記の申請が義務化されます

令和6年4月1日から、相続登記の申請が義務化されます。令和6年4月1日以前に発生した相続も対象となります。

相続によって不動産を取得した相続人は、その所有権の取得を知った日から3年以内に相続登記の申請をしなければなりません。

法務局で相続登記が完了したら、農地については農業委員会へ届出してください。



農業者年金で老後も安心!

あなたの老後生活の備えは十分ですか?
家族で農業者年金に加入し、豊かな老後生活のために備えましょう。

- 1 農業者であれば広く加入でき、加入・脱退も自由!
加入資格は以下の3つです。
① 年間60日以上農業に従事
② 国民年金第1号被保険者
③ 20～64歳の方
- 2 「積立方式・確定拠出型」なので
少子高齢時代でも安心!
- 3 終身年金で、死亡一時金もあります。
終身年金ですので生涯一定の収入が確保されます。
- 4 税制面で優遇措置!
支払った保険料は全額社会保険料控除の対象です。
- 5 若い農業者には国庫補助も!
認定農業者等の条件を満たす方は、最大1万円の国庫補助が受けられます。



農地法の改正により、従来の標準小作料は廃止され、地域における賃借料の目安となるよう農業委員会が実勢の農地賃借料情報を提供することになりました。

令和5年1月から同年12月までに締結(公告)された賃借料における賃借料水準(10アール当たり)は、以下のとおりとなっております。

農地賃借料情報

1 田(水稲)の部(10a当たり)

	平均額	最高額	最低額	データ数
一関・花泉地域	5,463円	10,000円	1,917円	1,054
大東・千厩・東山・室根・川崎・藤沢地域	4,430円	8,867円	1,978円	472

2 畑の部(10a当たり)

	平均額	最高額	最低額	データ数
一関・花泉地域	2,180円	3,067円	1,213円	83
大東・千厩・東山・室根・川崎・藤沢地域	3,066円	4,982円	958円	74

- 備考**
- 今回公表する賃借料情報は実際の契約に参考としていただくために、それぞれの地域ごとに契約額が極端に高額、低額(平均値の1.7倍以上および0.3倍以下のもの)な実例をあらかじめ削除した後、全体集計しております。
 - 実際の農地の賃借には、賃借料が無料の使用貸借契約もありますが実例として含めておりません。
 - 実際の農地の賃貸借契約の際は、対象農地の収穫見込み量や形状、および隣接する道水路などの状況を考慮して、両者で協議の上決定してください。

編集後記

農林水産業の発展と担い手の育成目的とした、いわて農林水産躍進大会が今年1月に行われ、今年度新たに「女性活躍賞」が創設されました。農業技術の向上や、地域発展に貢献した個人や団体が表彰され、当市からも花泉町でブルーベリーとヨーロッパ原産の野菜、ピーツの生産加工に取り組んでいる渡邊淳子さんが受賞しました。渡邊淳子さんは、自家産野菜を使った無添加ドレッシングや甘酒の開発、野菜の販売の活動をしております。

農産物を生産することが得意なのはどちらかといえば男性かもしれませんが、逆に女性は農産物を活用して新たな食を生み出す発想力があり創り出すことが得意だと思えます。双方が持つ得意とすることが合わさってダイバーシティマネジメント(多様な人々が活躍できる場を整え、組織・地域のパフォーマンスを上げること)となり、誰もが生き生きと地域で活躍できるための鍵だと思います。

農業委員 松岡 千賀子

「いわいの大地」編集委員
編集委員長 佐藤 和威治(藤沢)
副委員長 畠山 潔(大東)
編集委員 松岡 千賀子(一関)
佐藤 多賀幸(花泉)
遠藤 真一(千厩)
佐藤 想司(東山)
藤原 美喜男(室根)
小野寺 修(川崎)

